



月	日付
日	名前

問題

次の詩を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

雪

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。
 次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。

(三好達治作「測量船」より)

この詩は、朝・昼・夕方・夜のいつごろを表しているでしょう？
 なぜ「太郎」「次郎」というような名前を使っているのでしょうか？
 詩から受ける感じは、寒さでしょうか暖かさでしょうか？
 それらを考えながら、ゆっくりと、読んでみましょう。

1 この詩は「雪」という題の詩です。次の1〜3に答えましょう。

1 季節はいつですか。

()です。

2 1で「眠らせ」の主語は何ですか。

()です。

3 11の「太郎の屋根」とはどんな意味は何ですか。

()という意味です。

形や言葉づかいが似ている行を並べて表す方法を、「対句法」といいます。この詩は、対句法で作られています。

2 雪の降り方はどんなだと思えますか。合っていると思うものを選びましょう。

ア 風とともに激しく降っている。

イ 雨が混じって、音を立てて降っている。

ウ 風はなく、しずかに降っている。

3 「太郎」と「次郎」という名前は、何を表していると思えますか。合っていると思うものを選びましょう。

ア 雪国地方に住む男の兄弟みんなを代表させている。

イ 雪国地方の同じ村などに住む男の子みんなを代表させている。

ウ 雪国地方に住む子どもみんなを代表させている。